

『News Letter 新名神（高槻～神戸） Vol.3』 発行にあたって

本日から平成21年度に突入しました。我がNEXCO西日本兵庫工事事務所も川西市に移転して早3ヶ月。新たなメンバーも加わり、協力社員含めて総勢76名となりました。メンバー一同、一致団結してがんばってまいりますのでよろしくお願いいたします。

さて平成20年度を振り返りますと、特に用地取得について大きく進展することができました。年度当初は4%であった取得率もこの3月末で19%に達しました。合意に至っているもの手続き等の関係で契約に至らなかった土地も含めると約30%の取得が可能となった状況です。貴重な用地を譲ってくださった地権者の方々や取得に携わった土地開発公社等の関係者の皆様にこの場をお借りしてお礼申し上げます。

また、昨年末には初の本線工事を発注することができました。そのような状況下で兵庫県警察本部と連携し、「NEXCO西日本 兵庫県不当要求防止対策連絡会」を活用し不当な要求には組織をもって対処していく仕組みを整えることができました。

平成21年度は、地域の協力を得て早期の用地取得が図れば平成28年度の開通を目指していくという大きな目標において平成22年度以降の工事の本格展開を図るために非常に重要な年であります。このため平成21年度は、①『用地取得の概成（取得率75%）』を達成すること。②『地元の関係の皆様との間で『暫定4車線設計協議を完了すること』の2点を軸に事業を推進してまいります。

一日も早い中国道宝塚付近の渋滞解消を目指して、そして高速道路ネットワークの充実が日本の元気を関西から発信していく力となるよう新名神（高槻～神戸）の事業を精力的に推進してまいりますのでご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



NEXCO西日本高速道路(株) 関西支社 兵庫工事事務所 所長 小笹 浩司

【事業進捗状況】

市町名	神戸市 北区					宝塚市			川辺郡 猪名川町			川西市		
	八多町 中	有野町 二郎	道場町			玉瀬	武田尾	切畑	猪瀬	広根	上野	石道	西畦野	東畦野
地区名		平田	塩田	生野										
地元協議 (完成6車線)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(○)	(○)	(○)
地元協議 (暫定4車線)	—	△	△	△	△	○	○	○						
幅杭設置	○	△	△	—	△	△	—	○	△	△	○	○	○	△
用地調査	○	△	△	—	△	△	—	△	△	△	△	△	○	△
用地契約	○	△	△	—	△	△	—		△		△			
工事用道路 工事	—	—	—	—	△	△	—		—	—	—	—	—	—
本線工事						△	—							

凡例： ○ ⇒ 完了、△ ⇒ 実施中、空白 ⇒ 未着手、赤字 ⇒ 前号より推進した項目  
(○) は確認書の締結が未了

【4月1日の組織改編に伴う異動者からの挨拶】



NEXCO西日本 兵庫工事事務所 宝塚工事区 伊藤 哲男

4月1日付けで新生兵庫工事事務所の1期生として卒業することとなりました。在職中は、公私に亘り関係者の皆様方のご指導等のおかげで大変有意義な時間を過ごすことができました。また、新名神高速道路事業という大プロジェクトに従事することが出来たことに感謝しております。最後に、これから事業も本格化する時を迎えますが、チーム兵庫として全員心を一にして躍進されることを祈願しております。



兵庫県 県土整備部 土木局 道路計画課 尾原 勉 室長

高速道路室長として新名神高速道路事業に携わったのは2年間でしたが、この間、事業の本格的な立ち上げに関わることができたことを嬉しく思います。事業の本格化を受けて、本年度からは、県も体制も強化し、一層の事業推進を図ることとしています。兵庫工事事務所や関係市町等の皆様にはご厚情を賜り厚くお礼申し上げますとともに、新名神高速道路の平成28年度供用が実現することを心から祈念しております。



兵庫県 宝塚土木事務所 嵯峨根 勝利 参事

参事の仕事は体力勝負です。平成18年4月の半ばから境界確定のため、いきなり山斜面の登り・下りが始まり、一日に何往復もして、とうとう60肩になってしまいました。しかし、めったに経験出来ないビッグプロジェクトに参加することが出来たことに感謝しております。地元の皆さん、各関係機関の皆さんには本当にお世話になりました。ありがとうございました。

シリーズ 新名神キーマンインタビュー（第3回）

～川西市 土木部 中西 勉 部長を訪ねました～



きんたくん (川西市の元氣 いっぱいキャラクター)



Q1. 新名神沿線の特徴や歴史などについてお聞かせください。

A1. 川西市中部には、10世紀後半、源満仲が多田盆地に移り住み、率いる武士団の本拠地であった多田院が前身の多田神社や、満仲の子・頼光の家来である坂田金時（幼名：金太郎）のお墓が残る満願寺、小童寺があります。

新名神高速道路が通る市域中・北部は、大型民間開発団地や既存集落が混在しており、団地周辺部の緑地や既存集落の農地に加え、一庫ダム付近の山並みや豊かな水をたたえる知明湖、そして市域を南北に流れる猪名川など、豊かな自然が残る市街地整備が図られております。

昨年川西市では、まちに元気と活力を出すとともに、本市のイメージを高め、住んでいる人がふるさと川西を誇りに思う気持ちを持ってもらえるよう、「きんたろう」にちなんだイメージキャラクターとして「きんたくん」が誕生しました。さらに、市花は市民の投票の結果、源氏が旗印にササリンドウを使用していたこともあり、りんどうが選ばれ市としてもその普及に努めています。このように、川西市は豊かな自然に加え、悠久の歴史と文化に彩られた市域となっております。

Q2. 新名神高速道路は、川西市の産業経済活動や沿線に住まわれている方にどのようなインパクトがありますか。川西市の発展に向けて新名神の整備に寄せる期待についてお聞かせください。

A2. 新名神高速道路は、現在渋滞が著しい中国自動車道の大幅な渋滞改善が望まれる事に加え、中国道とのダブルネットワーク機能により阪神・淡路大震災などの災害や緊急時等の対応が可能となります。

川西市は、住宅都市として発展し、定住意識が強い特性から安心・安全・快適な住環境整備が継続的な課題となっておりますが、新名神高速道路に川西IC（仮称）が設置される事で、本市中・北部地区からの交通アクセスが飛躍的に向上するとともに東西交通軸が整備される事により本市の総合的な防災体制や消防・救急医療体制の充実などあらゆる災害に強いまちづくりに大きなインパクトがあるものと期待しております。



【写真】右：中西部長 左：インタビューー NEXCO兵庫(工)三枝



【写真左から】川西市土木部 高津課長補佐、畑尾課長、中西部長、水越室長、西田主幹

Q3. NEXCO西日本に対する要望などありますか。今後新名神事業を円滑に進める上で川西市の役割についてどうお考えですか。

A3. 用地買収を進められる上で移転をお願いする方については、大きく生活環境が変化するため、移転先など要望が出される事も予想されますが、誠意を持って進めていただければと考えています。それと、現在の静かな住環境が守られるよう、環境対策等についても十分な配慮をお願いします。

川西市も全体的な地元調整については、可能な限り協力して参りたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。



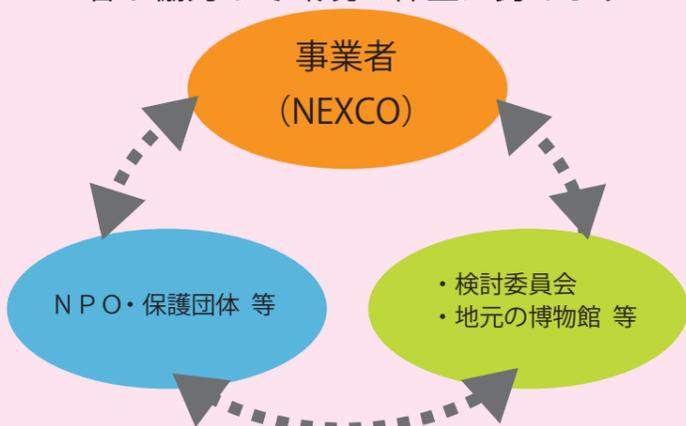
【川西市花 りんどう】

【新名神高速道路沿線の環境】

新名神高速道路沿線には豊かな自然が残っています。事業を推進するにあたって、豊かな自然を出来る限り守るよう、検討を行いながら事業を進めております。（左下の図が概念図）

今回、その豊かな自然の一例をご紹介します。この種は、環境省が発行しているレッドデータブックにも記載されている種です。

3者が協力して環境の保全に努めます



名称：ギフチョウ 昆虫 鱗翅目 アゲハチョウ科



日本の本州の里山に生息する蝶で成虫は春に発生する。近年、里山の放棄、開発などにより個体数の減少が著しい。幼虫の食草はミヤコア

オイやヒメカンアオイなどで、卵もこれらの食草に産みつけられる。真珠のような卵から孵化した幼虫は黒いケムシで、孵化後しばらくは集団生活をして育つ。蛹の期間が非常に長いのが特徴で、そのまま越冬して春まで蛹で過ごす。ギフチョウを保護する際には、ギフチョウの食草であるヒメカンアオイも移植等行います。